

令和6年度 第12回 学院等（すずかけ台地区）ブロック安全衛生委員会議事要録

日 時 令和7年3月19日（水）10：00～11：32

開催方法 Web（Zoom 使用）

出席者 柘植委員長（安全管理室長）、平山副委員長、石曾根、高橋（章）、奥野、角嶋、武山、
大上、藤田、室町、高橋（史）、寺田、長内、伴の各委員
オブザーバー：若林、中村、小林、遠藤、藤原、内田、林、森田
庶 務：赤羽、井上

配布資料

資料 1-1 令和6年度第12回すずかけ台地区安全衛生委員会議題
資料 1-2 衛生管理者の職務付加手当の増額に関する要望書
資料 1-3-1 職場巡視報告書（環境・社会理工学院 藤田研究室）
資料 1-3-2 職場巡視報告書（情報理工学院 浜田研究室）
資料 1-4 対策（改善）結果報告書（未来産業技術研究所 西迫研究室）
資料 1-5 実験室における事故事例
資料 1-6 すずかけ台地区構内全域都市ガス断ガスについて
資料 1-7 令和7年度すずかけ台地区安全衛生委員会開催日程
資料 2 安全管理室の活動報告及び今後の活動方針（3～4月）
資料 3 令和7年度 学院等（すずかけ台地区）安全衛生委員会 名簿 案
資料 4 令和7年度 学院等（すずかけ台地区）安全衛生委員会開催日程（案）
資料 5-1 すずかけサイエンスデイ 研究室公開手順 山口研究室
資料 5-2 すずかけサイエンスデイ 研究室公開・模擬店等手順書 瀧ノ上研究室
資料 5-3 すずかけサイエンスデイ 研究室公開・模擬店等手順書 中谷研究室
資料 6 資格取得者一覧
資料 7 令和7年度新入生安全衛生講習会 プログラム
資料 8 安全管理対象者系別一覧
資料 9 年度末における実験室の安全確保及び安全管理の徹底について（依頼）
資料 10 特別管理物質およびがん原性物質の個人作業記録の一括管理について（通知）

1. 前回議事要録（案）の確認

令和6年度第11回学院等（すずかけ台地区）ブロック安全衛生委員会議事要録（案）を確認し、これを承認した。

2. 系選出委員による安全点検結果報告について

系選出委員より、前月（2月）分の安全点検結果について報告があった。

3. すずかけ台地区安全衛生委員会報告（3/7Web開催）について

井上室員より、資料1-1～7に基づき、以下の報告等があった。

（1）審議事項

- ・衛生管理者の職務付加手当の増額に関する要望について

（2）報告事項

- ①すずかけ台地区各部局安全衛生委員会開催状況（3月開催）について

- ②産業医による職場巡視結果報告について
- ③改善結果報告について
- ④実験室等における事故事例について

(3) その他

- ①すずかけ台地区構内全域都市ガス断ガスについて
- ②令和7年度すずかけ台地区安全衛生委員会開催日程について

井上室員より、G2棟の実験室のガス漏洩事故について、事故の概要や被害状況、発生に至った経緯や考えられる原因について、報告があった。

角嶋委員より、事故の発生原因及び再発防止について、説明があった。

4. 安全管理室の活動報告及び今後の活動予定について

井上室員より、資料2に基づき、安全管理室の活動報告及び今後の活動予定について、説明があった。

5. 令和7年度学院等安全衛生委員会及び各委員改選について

委員長より、資料3に基づき、来年度の学院等安全衛生委員会委員の交代について説明があった。

今年度に引き続き、来年度委員長には柘植委員、副委員長には平山委員とする旨、合議にて決定した。

6. 令和7年度学院等安全衛生委員会開催日程（案）について

委員長より、資料4に基づき、来年度の開催日程案について説明があった。
日程については、審議の結果、原案とおりの承認した。

7. 2025SSD 研究室公開のリスクアセスメントについて

井上室員より、資料5-1～3に基づき、山口研、瀧ノ上研及び中谷研の研究室公開に係るリスクアセスメントについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

8. 資格取得助成について

井上室員より、資料6に基づき、今年度の資格取得状況について、報告があった。
来年度も資格助成について予算要求を実施していくこと、資格の取得を願いたい旨依頼があった。

9. 新入生安全衛生講習会について

委員長より、資料7に基づき、4月に受講案内を通知予定である旨説明があった。

10. その他

(1) 安全管理対象者系別一覧更新について

井上室員より、資料8に基づき、本一覧を更新した旨報告があった。

(2) 年度末における実験室の安全確保について

井上室員より、資料9に基づき、本通知について説明があった。

(3) 特別管理物質及びがん原生物質の個人作業記録の一括管理について

井上室員より、資料10に基づき、本通知について説明があった。

11. 令和7年度学院等安全衛生委員会に向けて意見交換

令和6年度本会議の最終回にあたり出席者全員で意見交換を行い、次のような意見があった。

- ・8月のG1棟の台風による浸水被害を危険箇所に登録したら、早急に止水板の設置等の対応があった。
- ・J2・J3棟に液体窒素の運搬時のフロアサインを設置する際に、1つの部局では進めにくいことを痛感した。
- ・研究室で引き継がれてきた安全管理のノウハウがコロナ禍で一部引き継がれていないことを危惧している。
- ・近年、漏水事故の報告が多く、たとえ少量でも長く続くと甚大な被害になってしまうことから、建物の老朽化については、全学的に見直してほしい。
- ・いろいろな部局が入っている建物の安全管理は数年前より懸案事項となっており、対応に向けての提言もあったが統合後へ持ち越されているので、全学的なところから再考いただきたい。
- ・安全衛生委員会に参加することで他の実験系のリスクや非実験系のどういうところに気を付けなければいけないか等非常に勉強になった。
- ・非実験系であっても、古い建物や歴史ある研究室での古い配線や電気ケーブルからの火災や大型の計算機を持っている研究室もあるので他人ごとではない。
- ・統合前後にTUBAMEがG4-A棟に来たことで、安全管理についても、他部局との関わりが増えた。
- ・先日、急逝された教員への哀悼とともに、万が一の際にはためらわず救急要請するなどが多く、改めて教職員も健康管理を心がけたい。
- ・田園都市線の跨線橋の横断歩道を渡らず、すずかけ門の前を斜め横断する学生が散見される。
- ・すずかけ台キャンパスは2010年前後に駅から食堂あたりの景観整備を行ったが、その後の整備や維持管理に投資がされていないので、安全面や精神面への効果大きいので維持管理や整備をお願いしたい。
- ・留学生が緊急入院等になった場合、区役所にて医療研究費の補助を申請すると良い。
- ・色々な分野の研究室を見て安全に対する風土の違いを感じることが出来た。
- ・雑居ビル化による安全管理の問題点について、部局ごとから建物ごとの安全管理への移行について、統合があり一時休止となっていたが、今年の4月から本格的に検討を進めていく。
- ・トンネルを抜けたG2棟への階段や、雨が降った時のフロアが滑りやすい。
- ・止水板の時のように委員長がすぐに声を上げてくれたように、学院では教員が声を上げてくれると非常にありがたい。
- ・ハンディキャップを持った方が避難するのは難しいことを認識した。
- ・学内での交通ルール特に自転車の制限速度が守られていないことがあるので注意喚起などが再度必要。
- ・建物の雑居化と、学生が気軽に集う場所などが、G地区には特に少なく、精神衛生的にもリフレッシュできるような環境整備が必要。
- ・G2棟の事故について所属部局にフィードバックができて、安全意識が高まった。

次回委員会

4/16（水）10：00～

ZOOM開催

以上